

第 137 回東邦医学会例会プログラム

平成 23 年 2 月 18 日(金) 午後 1 時～6 時 59 分
東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1)

2 月 18 日(金)

当番教室:生理学講座統合生理学/眼科学第 1 講座

開会の辞 _____ 生理学講座統合生理学 教授 有田秀穂

A. 一般演題

(発表:各 7 分, 質疑応答各 2 分)

座長:片桐由起子准教授(大森産婦人科)1～3 席(1:00-1:27)

1. 本学男女共同参画型臨床研修に関する M5 学生意識調査の検討 (7 分)
○松崎淳人, 松橋正和 (卒後臨研・生涯教育セン)
2. 女性医師支援の自験 3 実践例についての検討 (7 分)
○松崎淳人, 松橋正和 (卒後臨研・生涯教育セン)
3. 経皮的心房中隔欠損閉鎖術を施行した奇異性脳梗塞の 1 例 (7 分)
○原 英彦, 吉川尚男, 中村正人, 杉 薫 (大橋循内), 鈴木真事 (大橋臨検),
原田昌彦 (大森臨生機), 中山智孝, 松裏裕行, 佐地 勉(1 小児)

座長:石井延久教授(大森泌尿器科)4～6 席(1:27-1:54)

4. 膀胱癌に対する 3 次予防の検討:喫煙の実態調査と禁煙指導 (7 分)
○石渡誉郎, 清水俊博, 高田裕平, 岡 祐輔, 神戸茂樹, 田井俊宏, 永田雅人
山辺史人, 高杉啓一郎, 上村修一, 小林秀行, 鈴木九里, 田中祝江, 原 啓
永尾光一, 石井延久 (大森泌尿器)
5. 精巣腫瘍を疑われた陰嚢血腫の 1 例 (7 分)
清水俊博 (大森泌尿器)
6. 当科における悪性腫瘍の臨床的検討 (7 分)
○塚越 好, 福井暁子, 関谷秀樹, 森村 真, 原田光佑, 工藤泰一 (口外)

B. 平成 21 年度プロジェクト研究報告

(発表:各 8 分, 質疑応答各 2 分)

座長:佐藤二美教授(生体構造学)7～10 席(1:54-2:34)

7. 卵巣摘出ラットにおいて外因性エストラジオール (E2) は血中セロトニン量を
増加させる (8 分)
○中谷康司, 関山タマミ (統合生理)

8. ストレス応答性神経細胞死の誘導機構および抑止機構の解析 (8分)
○小林正明 (細胞生理), 細野なつえ (微生物・感染)
9. 日周変動キナーゼ CK2 による体内時計コアシステムの閥門制御機構 (8分)
○田丸輝也 (細胞生理), 岡田弥生 (免疫)
10. HIV-Tat-p38MAP キナーゼ蛋白質による神経幹細胞増殖誘導機構の解析 (8分)
○浜之上 誠 (細胞生理), 佐藤健一郎 (2脳)

座長: 山下 茂教授(生化学)11~14 席(2:34-3:14)

11. マウス受精卵の染色体複製開始機構 (8分)
○村井 晋 (生化), 片桐由起子 (大森産婦)
12. DNA 複製開始における SPB 構成因子 cdc31 p の機構解析 (8分)
○中林 修 (生化), 深谷 暁 (佐倉産婦)
13. PCTP-L による心房特異的なイオンチャネルの制御の解明 (8分)
○中瀬古寛子, 中井修三 (薬理)
14. タンパク質複合体を介したリン脂質結合タンパク質 PCTP-L の生理機能の研究 (8分)
○伊藤雅方 (薬理), 小田哲子 (微細形態)

座長: 石井壽晴教授(病理学)15~18 席(3:14-3:54)

15. NZBWF1 マウスの SLE 様疾患における CD180 陰性 B 細胞発現の解析 (8分)
○藤田和子 (病理), 鎌田 至 (大森消内)
16. 関節リウマチ(RA)患者滑膜組織でのヒアルロン酸(HA)の代謝 (8分)
○宇月美和, 横尾智子 (病理)
17. 糖尿病治療薬 α -glucosidase inhibitor 投与によるマウス腸内細菌叢の変化 (8分)
○菅澤康幸 (微生物・感染), 中野三郎 (糖代内)
18. 皮膚創傷治癒における fibrocyte の発現誘導とその微小環境の解析 (8分)
○猪股直美, 岡田恵美, 今泉りさ (大森形成)

座長: 逸見仁道准教授(分子生物学)19~22 席(3:54-4:34)

19. ケモカインの制御する自己免疫疾患発症機構の解析 (8分)
○桑原 卓 (免疫), 中里純子 (2小児)
20. ケモカインが免疫応答の誘導と維持に与える影響 (8分)
○田中ゆり子 (免疫), 片桐敏雄 (一般・消外), 高島明子 (佐倉産婦)
21. 転写因子 CXXC5 による hMLH1 の発現制御機構の解明: 転写因子複合体の同定 (8分)
○有田通恒 (分生), 菊池由宣 (卒後臨研・生涯教育セン)
22. COPD(慢性閉塞性肺疾患)患者における栄養状態, BCAA(分岐鎖アミノ酸)の検討 (8分)
○後町杏子, 石田文明 (大森呼内), 大嶋陽幸(一般・消外)

C. 平成 22 年度プロジェクト研究報告

(発表:8 分, 質疑応答 2 分)

座長:永尾光一教授(大森泌尿器科) 23 席 (4:34-4:44)

23. ラマン医用分光を用いた婦人科腫瘍に対する新しい診断法の確立 (8 分)

○櫻井信行, 倉崎昭子 (大橋産婦)

D. 平成 21 年度医学研究科推進研究報告

(発表:15 分 質疑応答含)

座長:永尾光一教授(大森泌尿器科) 24 席 (4:44-4:59)

24. 尿意を科学する: 過活動膀胱の中枢機序についての臨床・生理学的研究 (15 分)

榊原隆次 (佐倉内科)

E. 特別講演

座長:山崎純一教授(大森循環器内科) 25 席 (4:59-5:29)

25. 急性冠症候群: 成績改善のための戦略 (30 分)

内科学講座(大橋)循環器内科教授 中村正人

座長: 小山信彌教授 (大森心臓血管外科) 26 席 (5:29-5:59)

26. 安全な医療とは: 消化器外科医より医療安全管理部長に (30 分)

医療センター大森病院医療安全管理部 部長 教授 渡邊正志

市民公開講座 (5:59-6:59)

企画・担当： 統合生理学/眼科学第 1 講座

加齢黄斑変性の診療

座長： 朽久保 哲男教授（眼科学第 1 講座）

1. 加齢黄斑変性の診断と予防（20 分） 松本 直（眼科学第 1 講座）
 2. 治療：抗 VEGF 抗体硝子体注射（15 分） 丸山貴大（眼科学第 1 講座）
 3. 治療：光線力学療法（15 分） 権田恭広（眼科学第 1 講座）
- 討論（10 分）

閉会の辞 _____ 眼科学第 1 講座 教授 朽久保哲男

注1) 一般講演、プロジェクト研究報告、医学研究科推進研究報告の演者の先生は、必ず例会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400 字程度・構造化不要)と「*Keywords」(英語 3 語以内)を出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか、e-mail 添付でお送りください(E-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので、適切な用語を選んで下さい。

2) 特別講演(企画講演含む)の先生は、例会当日より4週間以内(締切日は依頼書に記載)に4000字程度にご講演内容をまとめて提出してください。

注:1)～2)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2)につきましては、詳細を受付におたずねください。